

ながもり通信

発行日：2023年12月15日 No.0032
編集&発行：ながもり編集部
HP：https://nagamori.jimdofree.com/

STAFF募集中

※詳細は、ご希望の勤務工場にお問合せください。
お待ちしております！

2023年ご挨拶

早いもので、年末のご挨拶をさせていただく時期となりました。
皆様におかれましてはご清栄のこととお慶び申し上げます。
来年もより良いサービス向上を図る所存ですので、
より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。
当社の年末年始の休業期間は下記の通りです。
2023年12月29日(金)～
2024年01月04日(木)
時節柄、ご多忙のことと存じますがご自愛くださいませ。
来年も変わらぬご愛顧をお願い申し上げますととも、
歳末のご挨拶とさせていただきます。

ながもり従業員一同

知っトク

正月飾り



2023年も残りあとわずかとなりました。

昔はお正月が近づくと玄関先に門松を飾るお家をよくみました。車にもしめ縄をつけていました。最近では、ほとんど見なくなりました。

正月飾りのしめ縄には、古い年の不浄を払い、新しい年神様をお迎えする歓迎の意味がありました。五穀豊穡、無病息災、家内安全の意味も込められています。

主な飾りの意味

橙=木から落ちずに実が大きく育ち、「だいたい」ということから代々続く繁栄の意を表します。

松・竹・梅・鶴・亀=古くからお祝い事に使われます。松は寒さに強く葉の色も変わらないことから誠実な心をあらわし、竹は真っすぐな性質が喜ばれ、梅は春に先駆けて咲くことから縁起のいいものとされています。

裏白=葉の表は常緑のまま繁茂するので長寿を表します。葉の裏が白いで「裏がない」という潔白を表します。二葉が相對しているのが夫婦和合にも通じ、おめでたいものとされています。

扇=末広りの扇は、末永く繁栄する意を表します。

水引=和紙をこよりにしてもので、元来は紙を結うときに使われていました。お祝い事には紅白や金銀の色の濃い方を右にして使います。

御幣・四手=外からの災いや厄をしめ飾りにつけた御幣に吸収させ家の中に災いが入るのを防ぐとされています。

もう一つ、飾ってはいけない日にちがあるのをご存知でしょうか。私知らなかったです(;^_^A 間違った日にちで飾っていたかもΣ(°Д°)

12月29日二重の苦の意味から苦立てという縁起が悪い日とされています。

12月31日一夜飾りといって年神様に対して誠意を欠く行為とされています。最近では、正月飾りもおしゃれでモダンなものを増えていますし、新しい門出のお祝いに自分でつくるのも楽しいですよ。水引などもネットなどでも購入できますので、来年は作ってみてはいかがでしょうか。

松のうちが過ぎたら(1月7日)近くの左義長を行っている神社でおたきあげをしてもらいましょう。左義長がない、あっても参加できないなどの理由がある人は、新しい紙または新聞紙を広げ「右・左・中」と塩を置き、お清めをしたあと、その紙でお正月飾りを包み、他のゴミとは別の袋に入れて可燃ごみとして出しても問題ないそうです。

今年も、ながもり通信を読んでくださってありがとうございました。
よいお年をお迎えください。また新年にお会いしましょう(^-^)/

今後の予定

12/29(金)から	お弁当の配達はお休みとなります。
1/4(木)まで	

11月(霜月)

由来には諸説あるようですが、平安末期の歌人【藤原清輔】が扇儀抄(おうぎしょう)という和歌の中で、「十一月、霜しきりに降るゆえに霜降月(しもふりつき)といふを誤れり」と記しています。もともと11月は霜降りの月だったのですが、省略されて霜月になったということです。当時は、霜がすでに降りていたのでしょね。

12月(師走)

師走という文字をみると、あ〜お正月がくるな〜、せわしいな〜というイメージが真っ先にきます。実際、何も日常と変わらないのですが(;^_^A この師走 僧侶が忙しく走り回っていたからが一番よく聞きます。なぜそんなに僧侶の人が忙しいかというと、歳末に仏名会(ぶつみょうえ)という法要があり、仏さまや菩薩の名を唱え、その年にしてしまったさまざまな罪に懺悔をし、身も心もキレイになるように祈念します。法要に参加できない人にかわり、あちこちの寺院にいくから忙しく走り回るといことなんですね。現在では、この振り返りってないですよ?今年もありがとうございました、来年もよろしくお祈りしますと感謝はあれど、懺悔はなかったな〜ということで、今年を振り返り、さまざまな罪←犯罪ではないですよ。を思い浮かべ、懺悔し(←あ〜社長にも聞かせたいな〜ww)感謝し、1年を終わりたいと思います!

ホームページをリニューアルします!

ホームページが新しく生まれ変わります!
2024年3月開設を目途に頑張っていきますので、楽しみにしててください。そしてNO.32まで刊行してきた「ながもり通信」見てくださっている方には、本当に感謝しています。「楽しみにしてるよ」「見てるよ」のお言葉はとても励みになります。これを機に廃刊にしようと思っていたのですが、社内から続けてよという声をいただきました、これ結構大変なんだよ!ネタをくれ!と叫びながらも続投となりました。たまに力尽き←ネタつき?休刊するかもしれませんが、これかれもご愛顧のほどよろしくお祈りいたします!リニューアルもありますので、3月までは休刊とさせていただきますが、また会える日まで待っててください!よろしくお祈りいたします。